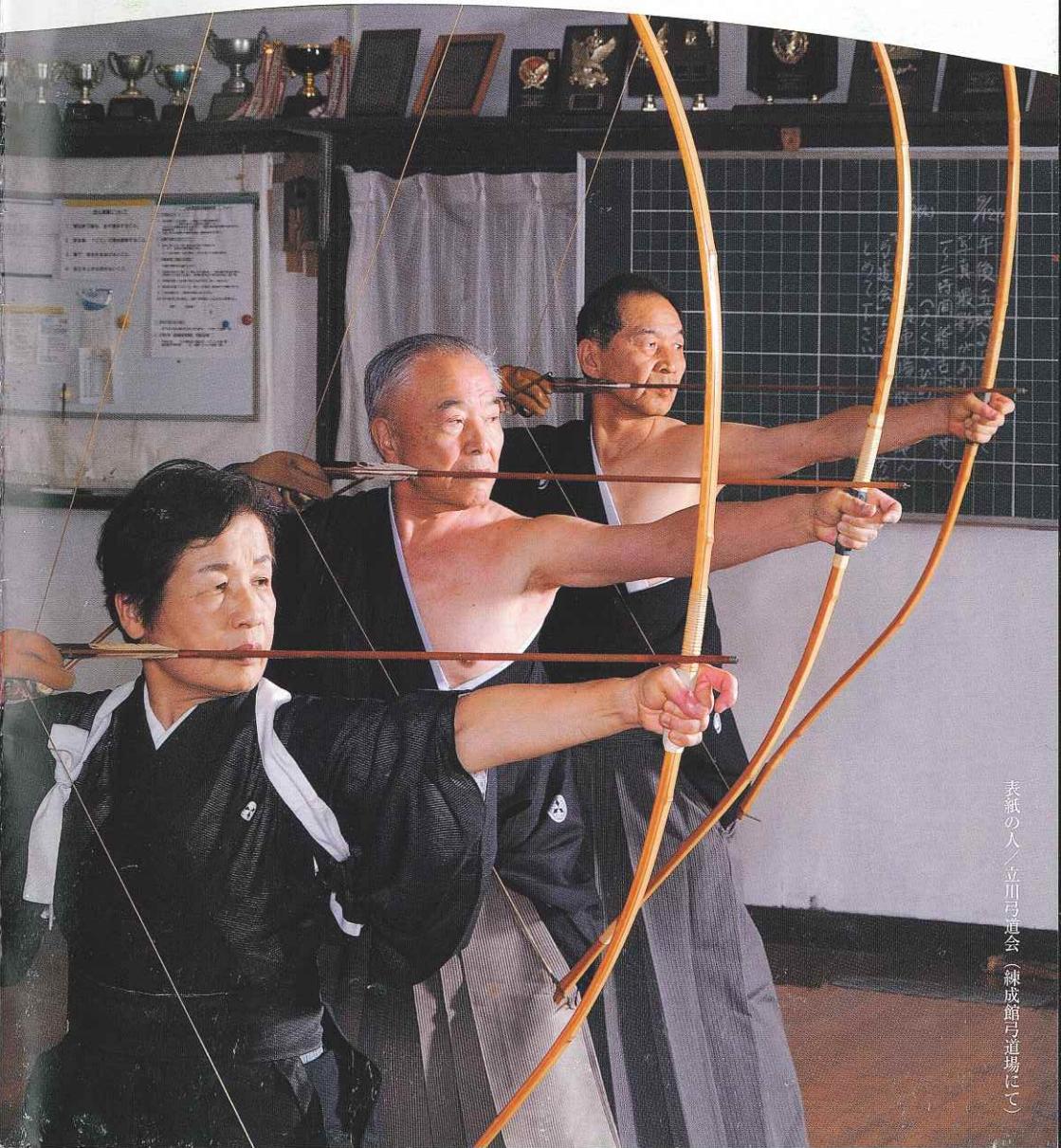


たちかわ今昔 昭和の柴崎町

えくでびあん

別冊

立川と語ろう 立川に生きよう
Écoutez Bien Extra Issue No.7



表紙の人／立川弓道会（練成館弓道場にて）

昭和初期のたちかわ南口

たちかわ今昔
昭和の柴崎町

香川 節さんのお話から

郷土史研究家で

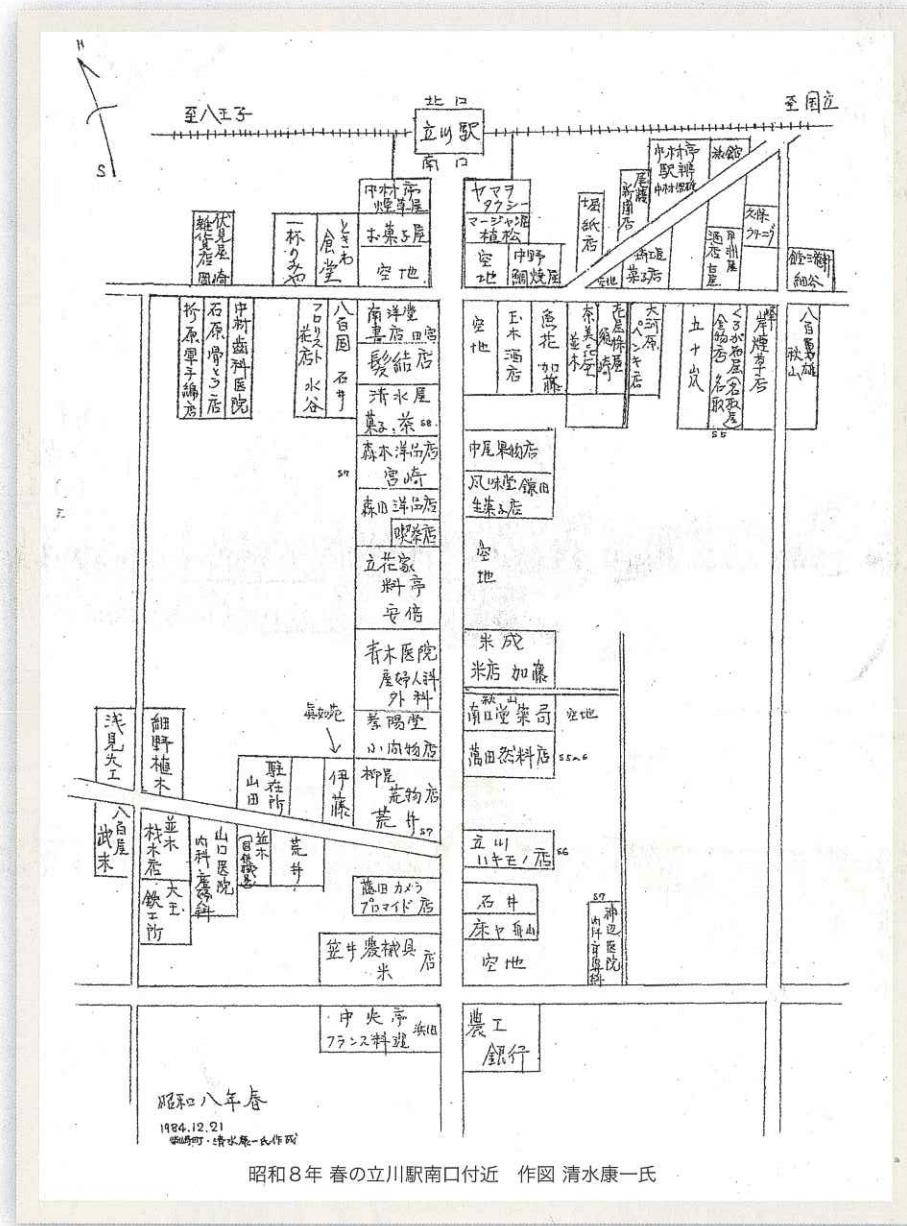
元八王子高校教諭の香川さん。

『多摩のあゆみ第6号』掲載のお話から
昭和初期の立川が見えてきます。

立川市柴崎町は、江戸時代戸数わずか200余戸の農村でした。そこに明治22(1889)年、甲武鉄道が開通し立川駅が開設されます。これから発展するだろうと人々は立川へ、立川へと集まってきた。けれども「本村」と呼ばれていた当時の柴崎町の中心は、開設された立川駅から1kmも南西に下ったところで、しかも駅には北口しかありませんでした。貴重な生活用水を柴崎分水に頼っていた本村の人々は、鉄道に水を提供するのを躊躇していました。玉川上水を擁する砂川村が積極的に水を提供したため、改札は一軒も家のなかった北を向いたと言われています。以後、立川は北口を中心に発展していきます。明治27(1894)年には青梅鉄道も開通し、すでにこの時多摩地区の交通の中心になっていました。立川駅北口前には、運送業、旅館、材木店、肥料店、養蚕関係の仲買店、料亭などが次々と開店、賑わいを見せていきます。一方本村(柴崎村)は、その発展を少し見送る結果となりました。

香川節さんは昭和4(1929)年、立川にやってきます。香川さんのお父さんは香川鉄藏とおっしゃる方で、当時大変な知識人でいらっしゃいました。『ニルスの不思議な旅』を日本で初めて邦訳した方でもあります。鉄藏さんご夫妻は「今でいう公害を避けて、空気の清浄な、そして人情の純朴な縁あふれる立川に小さな住居を築いた」そうです。「中央本線の電化はまだ国分寺まで、西国分寺、東小金井、三鷹の三駅はまだなく、国立駅がようやくできあがったところ」で、香川さんご一家は、「新宿から汽車に乗って立川で下車し、北口(南口はまだない)の新装なった駅舎から出て、西の踏切か東の踏切か(共に今は地下道となる)を横断して、南方の府立第二中学校近くの新居に入った」そうです。府立第二中学校は現在の都立立川高校です。

立川駅南側はまったくの桑畠でした。昭和3(1928)年、第一耕地整理組合が現在の柴崎町の一部の耕地整理に着手、現在の柴崎町の元となる碁盤の目のような街づくりが進め



られます。香川さんは続けます。「立川の南口も、南武鉄道・五日市鉄道の開通にともなって昭和5(1930)年に設けられ、その駅舎のところにあった民家を南へ500mほど曳いていくのを見つめていた」と。「しかし、碁盤の目のような街路はできても、商店や住宅が並ぶのにはよほどの歳月がかかり、春風の強い日には茶色の砂埃が家も人も襲って嫌な思いをしたそうです。「南口の駅舎の前には、タクシー屋がガレージを備え、黒塗りのセダン2両を置いていて、わたしたちは『香川』というだけでは自宅へ運んでもらえるほど、のどかなもの

だった。そのうしろにベビー・ゴルフ場があつて、周囲を板塀で囲んでの小さなリンクができたけれども、お客様は少なかったから永続しなかった。だんだん店がふえたが、早いところは、青木医院、万田薪炭店、小山洋服店、笠井米穀店、昼夜銀行などと記憶している」と記されています。地図はその頃の様子を清水康一さんが描かれたものです。

(資料:立川市歴史民俗資料館『立川の昭和史 第二集 昭和初期の耕地整理と鉄道網の発達』『昭和8年春の立川駅南口駅付近 作図清水康一氏』)

昭和10年ごろの柴崎町

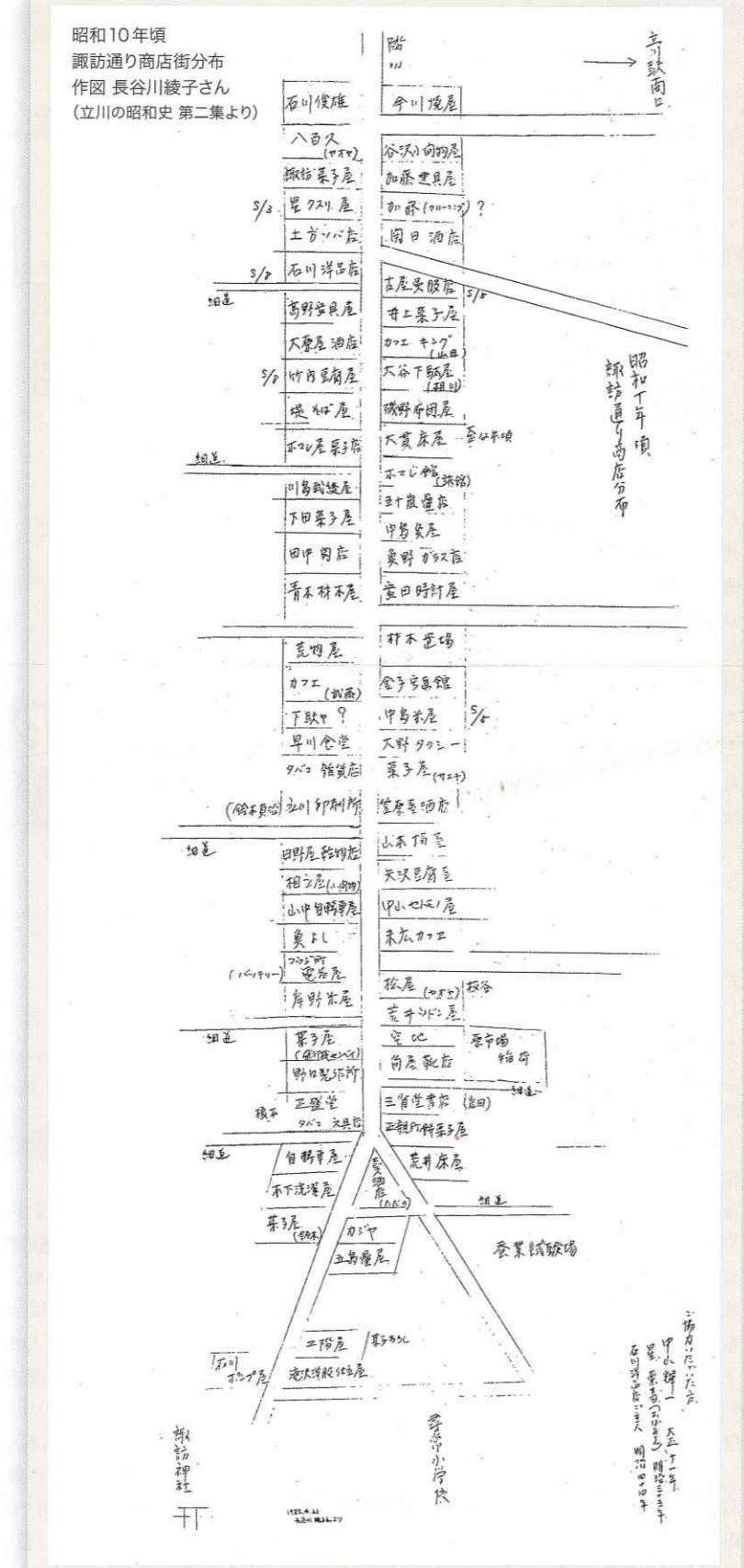
たちかわ今昔
昭和の柴崎町

「昭和10年ごろまでには、だんだんと賑やかになって、南幸町と称されるほどになった。今(昭和52年当時)は『たちばな』になったが長らく多摩中央信用金庫南口支店があったところに南羊堂文房具店ができ、北口の三羊堂文房具店とともにスマートな装いを誇った。森本運動具店の若主人は、わたしたちにいつも微笑みを送ってくれたし、奈美喜庵のそばやうどんは電話で頼むとすぐに届けてもらえた。南口堂薬局はスペイン風の飾りがついたモルタル建築で、眼鏡越しにお客を見て気さくに相談にのった店主がいた。万田商店は大きな倉庫(後のオリオン書房)にぎっしりと薪炭を積み、リヤカーをつけた自転車が出入りしていた。この店の大火鉢にいつも話をしている勇助主人の姿が見られた。今(昭和52年当時)のいなげやのところの笠井米穀店は、緑色のトタンの羽目板をした2階建で、太った赤ら顔の主人がロイド眼鏡をしているのは、こども心に威圧感を与えた。」

昔の地図に併せ香川さんの文章を読んでいると、当時の街並みが立体的に見えてきます。自転車に乗った人、路地で遊ぶ子どもたち、割烹着をつけた女性や府立二中に通う学生たち…。中央線の東京一甲府間が全線電化されたのは昭和6(1931)年。今でも子どもたちがグズると電車を見せたりしますが、当時は立川駅やめがね橋につれていってまだ珍しい電車を見せたのでしょうか? 6、7両編成だった客車は、電化して2、3両となります。発車時刻を短縮するには客車の数を減らすこと以外になかったそうで、いつも電車は混んでいたといいます。南口の駅前には「立川タクシー」がありました。立川北口にあった「立川運輸合資会社」の南口進出です。通称「ヤマヲタクシー」、経営者は砂川から移ってきた岡部さんでした。車は最初からフォードです。お客様の多くは多摩川の鮎漁に行く人や、飛行場関係者だったとか。戦争が激しくなってガソリンが不足すると、時代がタクシーは贅沢と考えるようになり、営業をやめました。南口で八百屋と食堂を営む岡部さんと、北口で製麺業を営む岡部さんに分かれましたが、今やヤマヲの麺は有名ですね。「須田松柳先生の歯科医院も、なつかしい。まだ若かった先生は、新式の器械を備えて、子供のお客をたいせつにされていた。神辺医院もよくお世話になった。耳鼻科が専門で、盛文先生はやや鼻にかかった甲高い声で指示されていた。うしろが書道塾の和田山蘭先生で、穏やかな白髪の先生が子どもたちに慕われていた様子が書かれています。

柴崎町と言えば諏訪通りです。西の踏切のそばには今川焼があって、みんなの楽しみだったとか。「諏訪通りは寿町ともいって古い街であり、古谷呉服店、磯野ふとん店、旅館ほまれ館、家田時計店、笠原酒店、松屋食料品店、三省堂書店といった店があり、反対側には渋谷寿司店、堤豆腐店、ほまれや菓子店、早川食堂、立川印刷所、岸野米店、正盛堂文具店などが並んでいた。」

80年近い年月を経て、今もそのおもかげを保っているお店もあります。



38 EAST END
かわいい雑貨いっぱい。

39 レンタルボックス きぐら
掘り出し物あります。

40 貸銀
うなぎも天ぷらもおいしいです。

41 菊川園
お茶と海苔ならここです。

42 ショイフループラザ
鳩居堂の品物あります。

43 堤屋
老舗です。昔はお惣菜もやっていました。

44 hocco* café
野菜のおいしいお店です。

45 立川わかば 整骨院
ここに来てよかったです~と思うそうです。

46 立川紙業
紙のことは何でもどうぞ! スペシャリストです。

47 雪神堂
立川みやげのおせんべい

48 You Me
おしゃれな方、御用達!

15 ハレピン
定食は量も味も大満足。

14 新匠 雅
うど和紙、あります。

32 藤レディース
名物お母さん。おもしろすぎ!

33 北京大飯店
創業50年を越えました。

34 酒歩たかだ
4時頃から開いてます!

35 ヘアーサロン オオヌキ
理髪店の老舗です。

36 山城
ガツツリ食べたい人におすすめ。

37 ホマレヤ
かっぽうぎ、あります!

52 TeA Cozy
ケーキはもちろん、ランチもおいしい。

62 ピューティーサロン ウィスター
ウィスターは藤の花のことです。

63 小林歯科クリニック
第一小学校と同じくらいの歴史がある文房具屋さん。

駅の近くのえくてじあん
(ここに置いてあります)

駅の近くのえくてびあん

(ここに置いてあります)

12 ソーラーL.Nc

みんなでワイワイタリアン。



11 ピストロすぎ浦

リーズナブルにフレンチを!



10 南武堂

剣道・教師八段います。

9 MOON ZETTON

ヘアサロンです。

7 パスタピーノ はしや

ボリュームがあっておいしいのが自慢です!



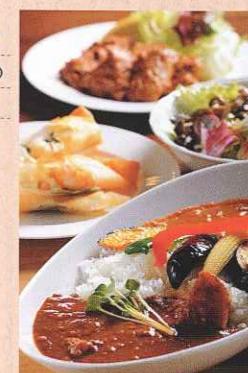
25 入船茶屋

お寿司どうなぎの入船さん。



26 Haji ハジ

オリジナルカレーのお店です。



1 WISH BONE

ハンバーグとステーキのお店です。



13 あすなろクリニック

院長先生がやさしいです。

16 一心堂

老舗の表具屋さんです。

17 すがの歯科

階段をあがってください。

18 トーク・スペース

コロッケは立川名物になりました。



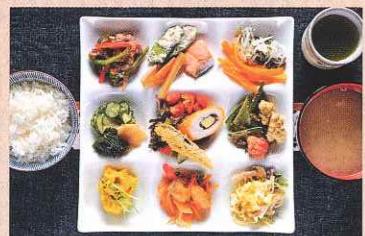
19 小沢屋

旅館の老舗です。



55 石や

野菜がたっくさん食べられます。



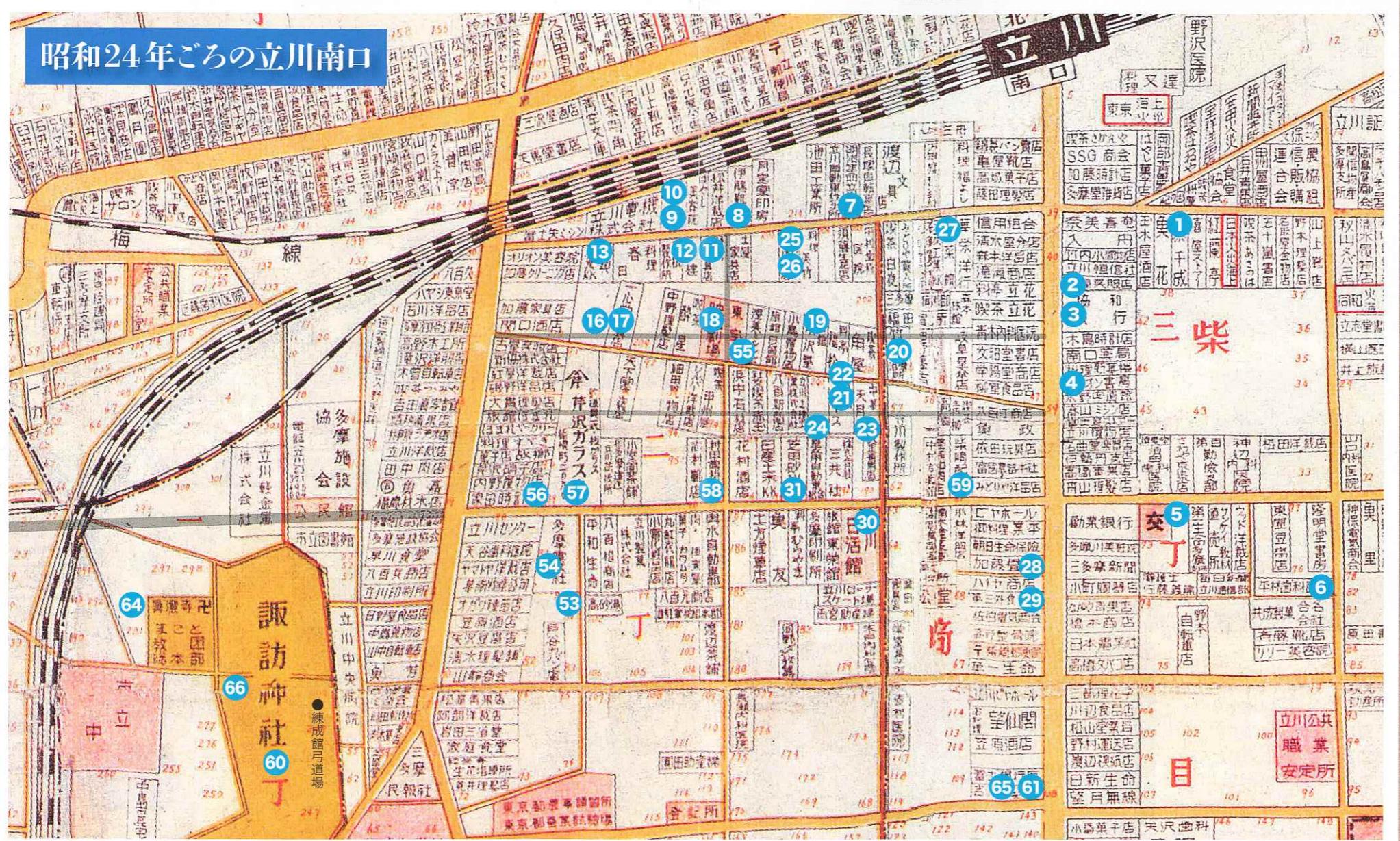
64 真如苑 総本部

60 諏訪神社

1200年の伝統があります。



昭和24年ごろの立川南口

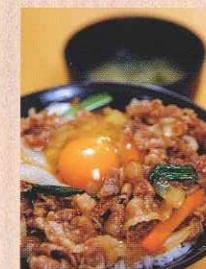


56 かみゆい辺 わ

和服の時は是非!

54 相模屋

ご飯の量が半端じゃない!



57 芹沢ガラス店

すてきな額、いっぱいあります。

58 コマツホーム

住宅のことは相談しましょう。

53 石原薬局

調剤薬局です。

66 焼き芋屋

夢工房には夢が詰まっています。

22 Pasta Frollo

生パスタがおいしい。



21 夢工房

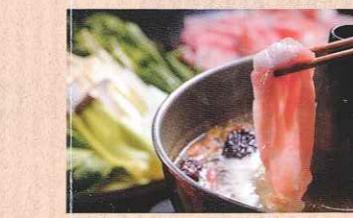
夢工房には夢が詰まっています。

20 フシンドンホテル

ダイヤモンド富士が見える部屋あるそうです。

24 トントン

丼膳がおすすめです。



23 ケフトロ

チーズフォンデュもステーキもおいしい。



31 パセリドゥーエ

自家製ベーコンがおいしい!



59 パッケージプラザ カサイ

かわいい包装紙、紙袋がいっぱい。

61 髪職人 YOSHIZAWA

三代で表紙にもなっていただきました。

65 ギャラリー花

純喫茶で、ライブもやってます。落ち着くお店です。

28 けやき出版

郷土の本はやっぱりけやき出版さん。

29 のーかる

とにかく頑張ってます!おいしい野菜。

30 いなげや・ESBI

日々の暮らしに欠かせないお店です。

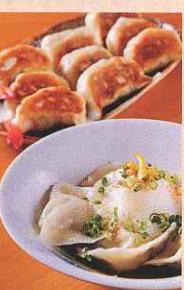
2 ほっくすペーす中屋

着物のことは何でも聞いて!



3 リサな銀行

4 オリオン書房 アレア店

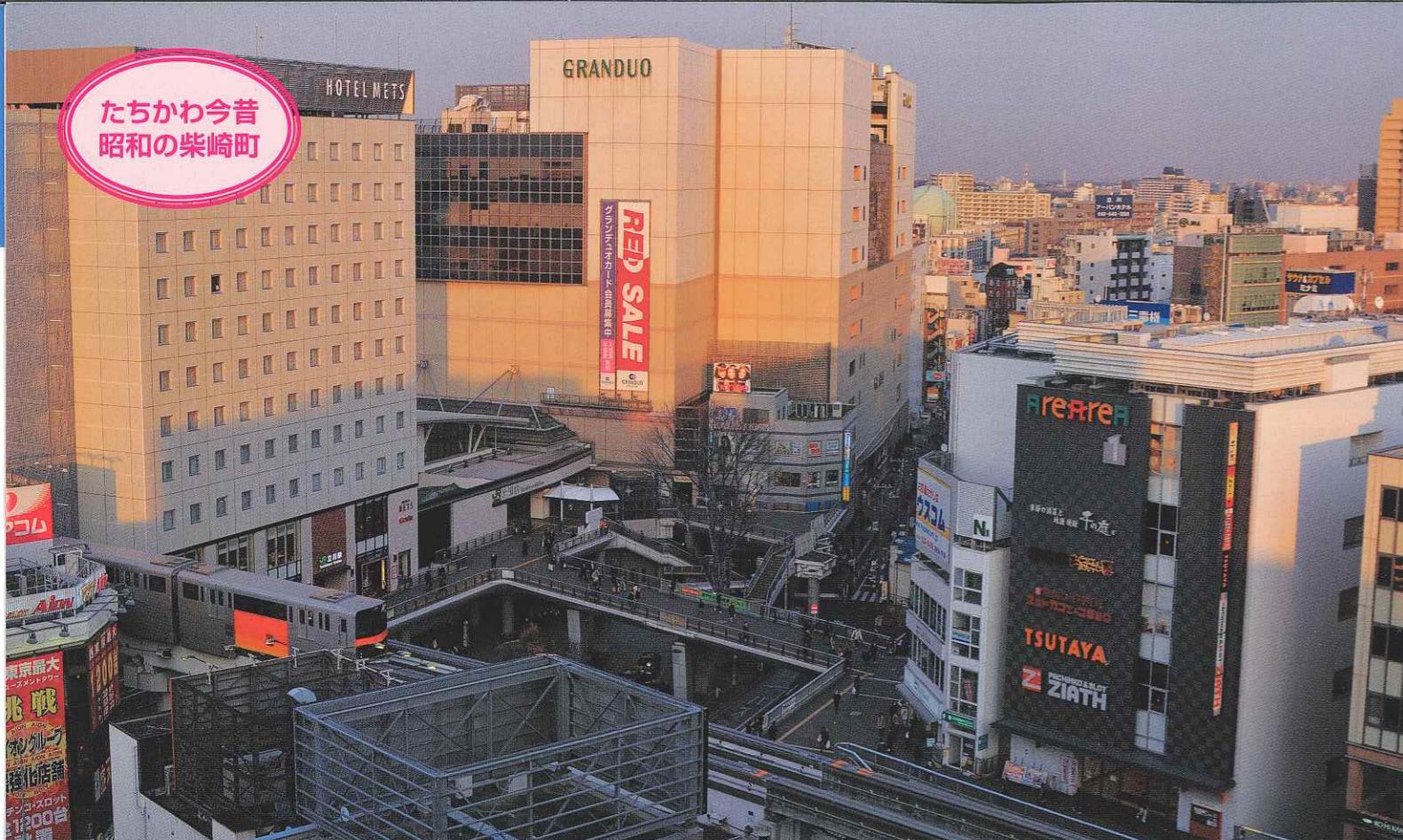


5 ヴィゴロッソ

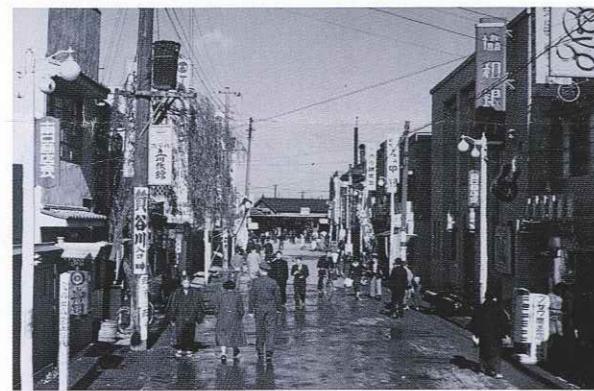
ピザは生地が選べます。

6 ぎょうざ工房

他とはひと味もふた味も違う餃子が食べられます。



立川駅南口前



立川駅南口前



諏訪公園



本冊子に掲載している地図は、いずれも個人の記憶を基に商店を中心に描かれたものです。お店をやっていないお宅はたくさんありましたし、地図上の敷地面積も定かではありません。が、当時の様子を知る手掛かりにはなります。もはや戦後ではないと言われた昭和30年頃の南口を見てみると、南口大通りにはお店がびっしり建っています。夕暮れともなると、ネオンがピカピカ。「立川南口商店街」のアーチを明るく照らし出していました。南口ロータリーには食堂デパートの奈加乃があって、その南には奈美喜庵。お隣の入船さんは、現在諏訪通りに移転しています。南羊堂のあったところには多摩中央信用金庫(現多摩信用金庫)。現在はマクドナルドになっています。今はあまり子どもの姿を見かけない諏訪公園ですが、当時は移動動物園が来たり、のど自慢が行われたり賑やかでした。

一方、昭和20(1945)年9月に移駐してきた米空軍。立川基地が極東最大の輸送基地となつたため、航路下にある柴崎町はしばしばその轟音にさらされていました。昭和44(1969)年、米空軍が立川基地の飛行業務を停止、飛行機の音は激減しました。昭和52(1977)年11月に基地は全面返還され、昭和53(1978)年から開園準備が進められていた国営昭和記念公園が、昭和58(1983)年10月に開園しました。30年経った昨年の入園数は380万人を越えたそうです。『緑の回復と人間性の向上』をテーマに開園した公園。1人ひとりの幸せをずっと守り続けたいです。

昭和30年代の柴崎町

昭和32年4月1日 — 立川駅を中心としての商店分布



立川変遷地図集より転載

表紙の人

立川弓道会

左から 倉林裕子さん(教士六段)、倉林敏之さん(教士七段)、岡崎幸平会長(五段)

諏訪神社境内地にある弓道場で活動している立川弓道会。その始まりは大正時代に遡る。立川は強いと言われるごとく、現在全日本弓道連盟の会長は立川の石川武夫範士九段。「正射必中」正しく射れば必ず的を射ぬけるそうだが、自分との勝負、なかなかむずかしいものだ。その最高目標は「真・善・美」。丹田で射る様を、練成館で見学することもできる。是非!

[資料]

多摩のあゆみ第6号、立川駅百年、立川の昭和史 第二集 昭和初期の耕地整理と鉄道網の発達、写真集たちかわ、立川変遷地図集 (いずれも立川市歴史民俗資料館)

えくてびあん ◎

別冊えくてびあん たちかわ今昔 昭和の柴崎町

平成26年10月1日発行

発行 有限会社えくてびあん

〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F

TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065

E-mail message@tamatebakonet.jp

URL www.tamatebakonet.jp

発行人 黒須環

企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ

デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)

印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。

第一小学校が複合施設になって生まれ変わりました



緑の杜と富士山を臨む学校です。[2014年8月30日撮影]

新潟の小千谷小学校に次いで、2番目に古い創立の立川市立第一小学校。
多くの立派な方を送り出し、今また新しい時代を迎えてます。



140周年を祝った旧校舎。
[2010年2月27日撮影]



旧校舎を壊しています。西側の校舎がまだ少し残っています。
[2012年10月24日撮影]



プレハブだけになりました。
[2012年12月8日撮影]



高いクレーンが立っていた日々です。
[2013年12月16日撮影]